

Flower Message

38th | 2025年4月1日から
2026年3月31日まで

アルストロメリア
キャニオン

JA愛知みなみ
アルストロメリア出荷連合
(愛知県)



略歴

- 1996年 4月 株式会社大田花き入社
- 2005年10月 当社営業本部第1グループマネージャー
- 2013年 1月 株式会社九州大田花き専務取締役営業本部長
- 2014年 4月 当社執行役
株式会社九州大田花き代表取締役社長
- 2020年 4月 当社執行役専務
株式会社九州大田花き取締役
- 2025年 4月 当社代表執行役
株式会社大田ウイングス代表取締役社長（現任）
- 2025年 5月 株式会社大田花き花の生活研究所取締役（現任）
- 2025年 6月 当社取締役 代表執行役社長（現任）
- 2026年 4月 株式会社九州大田花き代表取締役会長（現任）



【ごあいさつ】

<https://otakaki.co.jp/corp/greet/>



【社長コラム】

<https://otakaki.co.jp/contents/pres/>



代表執行役社長
萩原 正臣

社会構造が変化する時代に

開場35周年、頼られる市場の「チカラ」を磨く

2025年6月に代表執行役社長に就任してから、まもなく一年。2025年9月8日に開場35周年を迎えました。『ただの通過点では終わらせない～35年目の節目、新体制で次の一歩へ。』代わるのは、みんなで進み続けるため。作り手の想い、花を飾る人の想い。鮮度を守り、価格を見極め、想いをつないでいきます」というメッセージを発表しました。『ただの通過点』で終わらせることなく、新たな未来の出発点であることを宣言しました。

近年、気象変動による出荷サイクルの乱れや地政学リスクの高まりに伴うエネルギーや物流面の不確実性、物価高など、花き業界を取り巻く環境は大きく変化しています。このような時代だからこそ、花は「特別な日のもの」だけではなく、「暮らしの質を支えるもの」として重要な存在であり、社会の中で花が流通する循環を継続していくことは、当社グループの使命でもあります。変化する時代においても、計画性と合理性を伴う市場運営を

ブラッシュアップし、お取引先様や生活者から頼られる大田花きの「チカラ」を磨く。その覚悟をもって、今年度も前に進んでいきます。

立ち止まることなく、手を打ってきた38期

課題解決力のある人づくりに取り組む

事業面では、「立ち止まらず手を打つ」ことを基本に、サプライチェーンの現実に向き合ってきました。

生産者様の支援では、重点産地と目標を共有し、再生産につながる価格形成を意識した営業支援を推進してきました。

物流面では、安定した幹線輸送は生産者様・運送店様のご尽力により支えられておりますが、地方への輸送に影響が始まっています。当社は、2016年に低温管理ができる施設を建設・保有しており、中継機能を活かして、地方への安定物流を維持する基盤を整えてきました。

仲卸様に対しては、営業活動を支援する取り組み等を通じて

商流・物流の合理化を進め、生花店様や小売店様のニーズに沿ったサービスを展開してきました。

生花店様に対しては、店頭的生活者ニーズを満たすマーチャンダイジングを共に考え、ロスを減らし、回転率を上げて、常に鮮度の高い商品を提供できる仕組みを個店ごとに連携して取り組んできました。

社内の人づくりに関しては、前向きな兆しが見えています。それは、従業員意識の変容です。課題を意識し、お客様視点で考え、皆さまのお役に立つための「課題解決思考」へ、ベクトルが揃い始めています。まだ緒に就いたばかりではありますが、既存業務を着実に遂行しながら、その先の提案や改善に向けた視座が高まりつつあることは、大きな変化だと考えています。加えて、計画的アプローチへの意識も芽生えてきました。

また、2026年3月には、地域に根差した営業基盤と高い取引実績を有する株式会社東日本板橋花きとの間で、株式譲渡契約を締結しました。当社は、同社との連携を深めることで、首都圏の需要をよりきめ細かく捉える体制を構築し、当社全体戦略に加えたエリア戦略として推進します。

これにより、市場機能の補完や業務の効率化、サービス向上を図りながら、中長期の環境変化に対応できる基盤整備と、シナジー効果の最大化に向けた組織体制の整備を進めていきます。

39期(2026年度)の展望

「つくる・運ぶ・届ける」をつなぎ直し、底力で未来を拓く

今年度は「仕事クオリティのさらなる向上」を目指していきます。業界関係者と密なコミュニケーションを重ねることで、「つくる・運ぶ・届ける」をつなぎ直し、サプライチェーン全体の力を強くすることを、リーディングカンパニーとして進めていきます。

生産者様に対しては、再生産につながる営業活動をさらに強化します。生活者ニーズに対応する改善や成功体験の積み重ねを通して、信頼関係の一層の強化を図っていきます。併せて、社会構造が変化する時代を捉え、明日(未来)の花き産業の期待・希望と一緒に考え、実現していくスタートとしたいと思います。社会に必要な花を、人々を幸せにする花を生活者に届けるという

同じ目的を共有し、共に前に進んでいきたいと考えています。

物流においては、いわゆる人手不足や輸送制約を背景とした2030年問題がクローズアップされていますが、エリアごとに仮説を立てながら、地域の集出荷施設を系統出荷・個人出荷を問わず利用できるような仕組みづくりを進めていきたいと考えています。こうした中継機能のみ提供するメニュープライシングとして産地や受益者のご負担を軽減し、安定した商流・物流の実現を目指してまいります。

仲卸様や生花店様に対しては、生活者を幸せにするもの、癒しや心のゆとりをもたらすものとして花を扱っているという本質を改めて共有し、消費拡大に向けて、連携して進んでいきたいと考えています。積極的に消費トレンドや産地動向などについての情報共有とコミュニケーションを進めていきます。

さらに今年度は、「花の消費拡大」に向けた取り組みを本格化させます。生活者のインサイトを丁寧に捉え、花の機能や価値をわかりやすく伝えるべく、デジタルとリアル両面から取り組みを進めていきます。日常の中で心の余裕を持ちにくい場面も増えている昨今、季節や色彩を感じ、気持ちを整える時間の価値が、改めて見直されています。花や緑は喜びを伝え、空間の空気を変える“かけがえのない存在”です。五感で感じられるリアルの価値は、暮らしの中で一層大切になってくると感じています。

そして何より、これらの取り組みを支えるのは人です。

各分野の仕事の基礎を磨き、計画的アプローチを進めることを習慣化させ、ゆくゆくは当社の企業風土にしていきたいと考えています。この習慣が根付けば、ソリューションビジネスを軸とした展開を志向する当社として、さまざまな局面で、これまで以上にお取引先様のお役に立てるようになります。

大田花きには、長年積み重ねてきた信頼と実績があります。

「大田花きに相談すれば何とかなる」——そう思っていただけ安心感を、次の時代の競争力として磨き直します。加えて、無駄を省き、効率を高め、コスト低減にも努めていきます。さらに、必要な戦略推進においては投資も検討していきます。

応えようとするココロと、応えようとするチカラ。

全社一丸となって対応する底力を発揮し、35周年を通過点にせず、変化の時代にこそ、皆さまに頼られる市場であり続けます。

パーパス

世界を花で笑顔にする

企業理念

未来に向かって花のある文化を創造し、人々の暮らしに潤いを届け、社員のゆとりある生活を実現します。

経営理念

業界のリーダーとして花き流通の活性化を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

事業領域

Solution(課題解決)とValue Creation(価値創造)で、花が身近な未来を創造します。

ただの通過点では終わらせないー 感謝と継承、そして次の一歩へ

2025年9月、当社は開場35周年を迎えることができました。

これまで支えていただいた皆さまへの感謝とともに、新たな代表執行役社長のもと、新たな一歩を踏み出しております。

この35年の歩みを大切に受け継ぎながら、時代の変化に向き合い、新たな挑戦を重ねることで、業界や社会に必要とされ続ける存在を目指してまいります。

「ただの通過点では終わらせない」
この思いを綴ったホームページもぜひご覧ください。

<https://otakaki.co.jp/corp/pr2025/>



Topics

トピックス

フラワー・オブ・ザ・イヤーOTA2025



当社では、優れた花きの出荷を奨励することを目的として、「フラワー・オブ・ザ・イヤー OTA」という表彰制度を設けています。毎年12月には、受賞者の皆さまを大田市場にお招きし、その功績を称えるとともに、日頃のご尽力に感謝をお伝えする機会としております。第21回を迎えた2025年は、全国および輸入品を含むすべての候補の中から、次の皆さまが受賞者として選出されました。



最優秀賞

品目・品種

枝物

「七立栗(ななたてぐり)」

ご出荷者

JA高知県
七立栗生産組合様(高知県)



優秀賞

品目・品種

ファレノプシス(コチョウラン)
「サーフソング」

ご出荷者

(有)加藤洋ラン園
加藤英世様(千葉県)



特別賞

品目・品種

ルドベキア
「ヘンリーアイラーズ」

ご出荷者

JAあがつま
草花部会様(群馬県)



新商品
奨励賞

品目・品種

キンギョソウ
「さくらホイップ」

ご出荷者

JAいるま野川越市切り花
出荷組合「芳華」様(埼玉県)

トレンド分析

～キーワードは“親和性”～ 淡いトーンとナチュラルな風合い、ほかの花と調和しやすい素材が受賞

現在の花トレンドは、調和を重視する社会志向を背景に、柔らかく安心感を与えるような優しいデザインが好まれる傾向にあります。そうした中、今回はさまざまな花と親和性が高く、自然に調和する素材が市場を牽引していることを示す結果となりました。

ポイント1 調和と自然観を重視

柔らかく上品な色調や、野趣を感じさせる雰囲気を持つ素材が注目を集めました。今回の受賞品種にもみられるように、ニュアンスカラーや自然体のフォルムに加え、草姿の動きやほどよいボリューム感が、自然志向の価値観と調和し、多くの場面で活用されました。

ポイント2 地域資源の再定義とデザイン価値の両立

地域資源をデザイン価値へと転換し、地域ブランドとトレンドを結びつける“ストーリー性”が求められています。見た目だけでなく、産地の個性や背景が評価される今、七立栗のような地域のオリジナル素材は、“ローカル×トレンド”の成功モデルとして存在感を示しました。

詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://otakaki.co.jp/contents/flower/>



Welcome to 大田花き

イラストで大田花きをご紹介します。



花保ち試験室
こちらでは、試験室の条件を厳密に設定し、品質検査を行っています。



受付
ようこそ、大田花きへ。



事務所
フリーアドレス制を採用しており、開放的な空間づくりを通じて、コミュニケーションの活性化にもつながっています。



ショーケース
季節商材や新品種の紹介を行っています。



せり場
日本の花き相場を形成しており、スピーディーで臨場感あふれるせりが行われます。



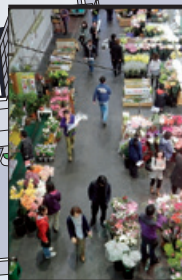
保冷库
差圧予冷機（圧力の差を作り出し、段ボールの内部に冷気を引き込んで冷却する装置）を設置し、適切な鮮度管理に取り組んでいます。OTA花ステーションにも設置しています。



物流棟
切花の箱に貼られたバーコードラベルを機械が識別し、買参人ごとに仕分けられます。



仲卸通り
仲卸各社の店先はまさに花盛り！買参人・買出人で賑わいます。



OTA花ステーション
2階、3階にそれぞれ約2,000㎡の保冷库が整備され2℃～18℃の定温・低温で花きを管理することができます。



OTA花ステーションからの眺望
羽田空港とのアクセスがよく物流拠点としての利便性は抜群です。

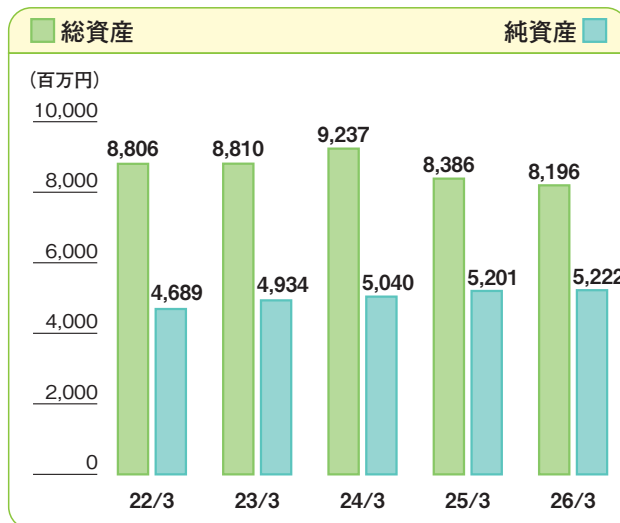
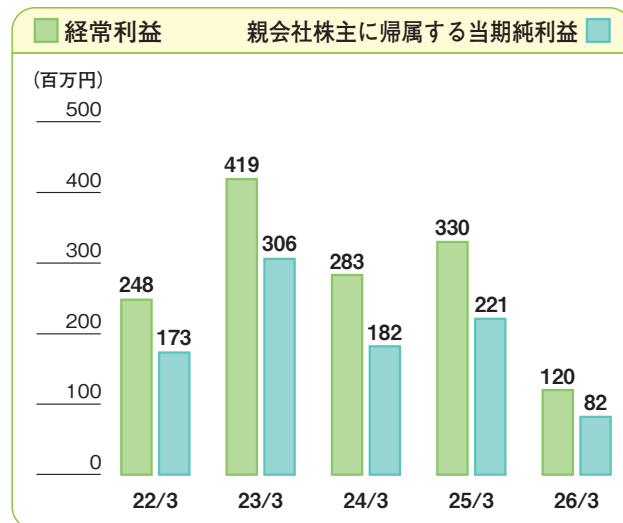
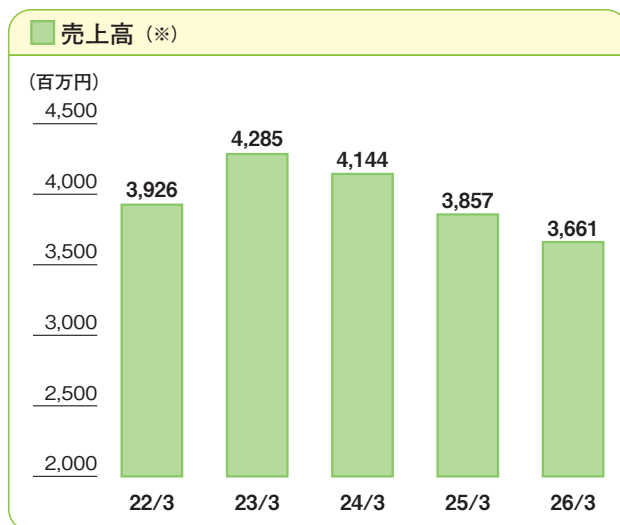
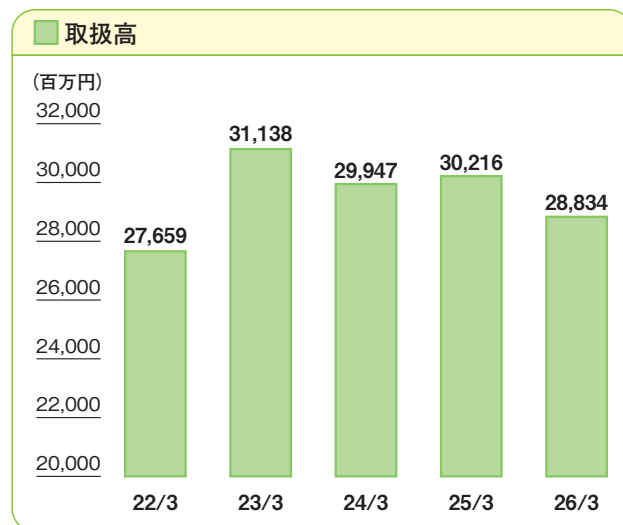


スロープ
地下と1階をつなぐスロープ。台車は自動搬送設備によって無人で安全に運ばれます。



花のモニュメント
大田市場花き棟のシンボル。

◎ 連結業績ハイライト



(※) 収益認識に関する会計基準等を適用した場合の数値です。

※詳細な業績ハイライトは、当社ホームページ「財務・業績ハイライト」をご覧ください。



◎ 連結財務諸表 (要約)

(単位：百万円)

連結貸借対照表	前期末 2025年3月31日	当期末 2026年3月31日
資産の部		
流動資産	3,877	3,764
固定資産	4,508	4,431
有形固定資産	2,876	2,701
無形固定資産	79	59
投資その他の資産	1,552	1,670
資産合計	8,386	8,196
負債の部		
流動負債	2,018	1,909
固定負債	1,166	1,064
負債合計	3,185	2,973
純資産の部		
株主資本	5,201	5,222
資本金	551	551
資本剰余金	402	402
利益剰余金	4,597	4,618
自己株式	△ 350	△ 350
純資産合計	5,201	5,222
負債純資産合計	8,386	8,196

(単位：百万円)

連結損益計算書	前期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	当期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで
取扱高	30,216	28,834
売上高	3,857	3,661
売上原価	786	810
売上総利益	3,071	2,851
販売費及び一般管理費	2,795	2,796
営業利益	276	54
営業外収益	79	75
営業外費用	25	9
経常利益	330	120
税金等調整前当期純利益	330	120
法人税、住民税及び事業税	125	66
法人税等調整額	△ 16	△ 27
当期純利益	221	82
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	221	82

(単位：百万円)

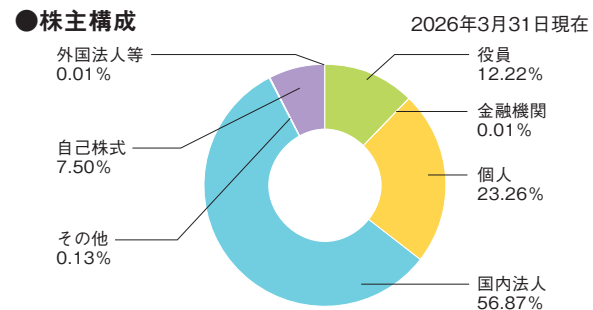
連結キャッシュ・フロー計算書	前期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	当期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	71	316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 250	△ 171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 376	△ 345
現金及び現金同等物の増減額	△ 555	△ 200
現金及び現金同等物の期首残高	2,302	1,746
現金及び現金同等物の期末残高	1,746	1,546

※詳細な財務情報は、当社ホームページに掲載の「有価証券報告書」をご覧ください。



株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 5,500,000株
 (自己株式412,326株を含む。)
 株主数 2,381名



●大株主の状況 2026年3月31日現在

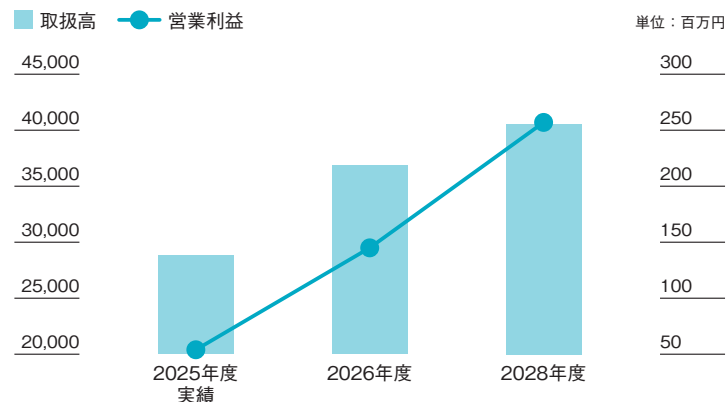
氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)大森園芸ホールディングス	1,627	31.97
東京青果(株)	499	9.80
小杉圭一	480	9.43
(株)大森園芸	400	7.86
磯村信夫	160	3.14
(株)都立コーポレーション	156	3.06
大田花き従業員持株会	119	2.34
(株)南関東花き園芸卸売市場	105	2.06
石井垂木子	103	2.02
野田裕一郎	103	2.02

※自己株式412,326株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※持株比率は自己株式(412,326株)を控除して計算しております。

中期経営計画

中期経営計画の概要

当社グループに(株)東日本板橋花きに加わったことで、取引の拡大と流通機能の高度化という従来の目標に加え、首都圏における花き流通ネットワークの高度化・広域化をさらに図ってまいります。併せて、DXの推進や業務効率化、財務基盤の強化に取り組みながら、従業員がやりがいを持って働ける職場環境づくりを進め、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。



【基本施策】

- (株)東日本板橋花きを含み、物流会社・地方市場とともに拠点連携を深化し、広域集荷・広域販売体制を構築することで、取引量の拡大と流通の最適化を図る。
- デジタル技術の活用により取引の効率化・可視化を進めるとともに、物流品質の向上と業務生産性の改善を実現する。
- 「創って作って売る」を標榜し、法人需要や日常消費の開拓により収益機会を拡大。併せて、財務・人材基盤を強化し持続的成長を支える。



※中期経営計画の詳細は、当社ホームページ「中期経営計画」をご覧ください。

会社情報

会社概要

- 2026年4月1日現在
- 商号 株式会社大田花き
 - 英文商号 Ota Floriculture Auction Co., Ltd.
 - 本店所在地 〒143-0001 東京都大田区東海二丁目2番1号
TEL.03-3799-5000
FAX.03-3799-1871
 - 設立 1989年1月
 - 代表者 代表執行役社長 萩原 正臣
 - 資本金 5億5,150万円
 - 決算期 3月31日
 - 従業員数 連結236名、単体178名
 - 事業内容 花きおよびその加工品の受託販売並びに購入販売

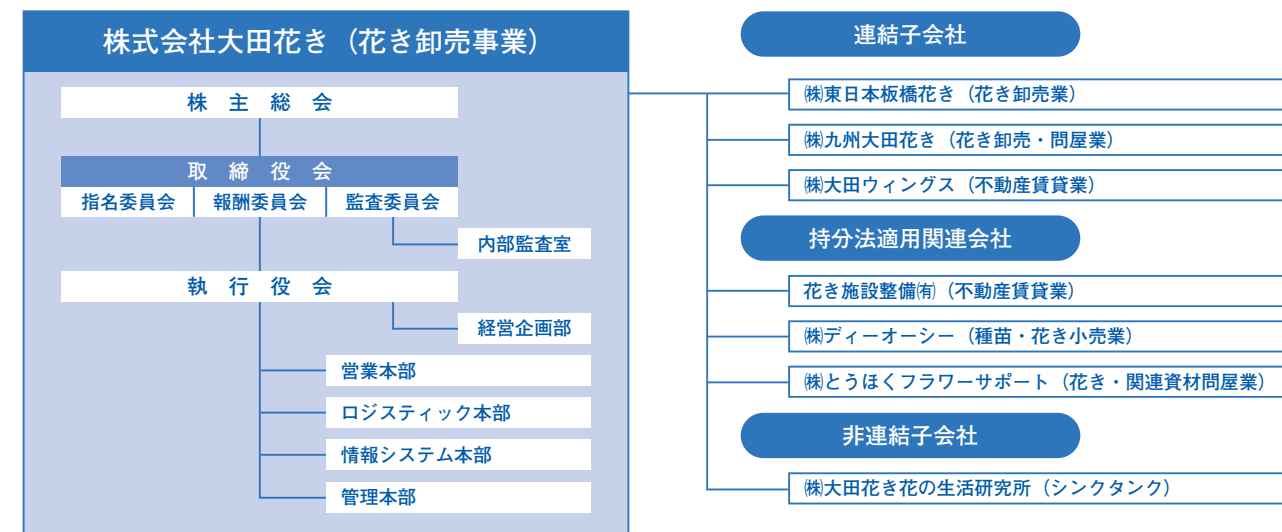
取締役会

- 2026年6月27日現在
- 取締役会会長 (指・報) 磯村 信夫
 取締役 (指・監) (※1)(※2) 須磨佳津江
 取締役 (指・報) (※1)(※2) 大島代次郎
 取締役 (報・監) (※1)(※2) 菊田 一郎
 取締役 (監) (※1)(※2) 内田 善昭
 取締役 (指・報) (※1)(※2) 小和田有花
 取締役 (指・監) 磯村 隆夫
 取締役 (指・報) (※1) 川田 光太
 取締役 (指・報) 萩原 正臣
- 指：指名委員 報：報酬委員
 監：監査委員
 ※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役
 ※2 東京証券取引所が定める独立役員

執行役体制

- 2026年6月27日現在
- 代表執行役社長 萩原 正臣
 執行役 経営企画部長 加藤 了嗣
 執行役 営業本部長 大西 克典
 執行役 営業本部副本部長 金子 和彦
 執行役 管理本部長 平野 俊雄
 執行役 ロジスティック本部長 内田 維和
 執行役 情報システム本部長 山田 幾
 執行役 経営企画部 特命部長 秋月 功三

グループの概要



※詳細は、当社ホームページ「事業紹介」「会社概要」をご覧ください。



事業紹介



会社概要

●株主様ご優待のお知らせ

毎年3月31日現在および毎年9月30日現在の株主様に対し、以下のとおり株主ご優待券を贈呈いたします。

【100株以上1,000株未満ご所有の株主様】
一律500円分の「当社オリジナル・クオカード」を贈呈。

※これはイメージです。



【1,000株以上ご所有の株主様】
一律3,000円分の「花とみどりのギフト券」を贈呈。



ご利用方法および取扱店舗についてはこちら。
<https://otakaki.co.jp/ir-shareholder/>



当社のホームページでは、企業情報、IR情報、サステナビリティなどさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://otakaki.co.jp>



●株主様へアンケートのお願い

当社は「Flower Message」を皆さまとのコミュニケーションの場として充実させていきたいことからWEBアンケートを実施いたします。ぜひご協力くださいますようお願いいたします。
アンケートにご回答いただいた方へ、花カレンダーを送付させていただきます。

【ご回答期日】

2026年10月31日

<https://forms.cloud.microsoft/r/AjHYfCZ8Ff>



●株主メモ

証券コード	7555	株主名簿管理人・	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場	特別口座管理機関	(連絡先)
単元株式数	100株		〒183-0044
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		東京都府中市日鋼町1-1
基準日	毎年3月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告		証券代行部
	ただし事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします		0120-232-711 (通話料無料)
	(公告掲載アドレス)		(郵送先)
	https://otakaki.co.jp/		〒137-8081
			新東京郵便局私書箱第29号
			三菱UFJ信託銀行株式会社
			証券代行部

※住所変更等の各種手続きについては口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、および特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 大田花き

〒143-0001 東京都大田区東海 2-2-1

TEL:03(3799)5570[内線7番] FAX:03(3799)1100



東京証券取引所
スタンダード市場
証券コード 7555

表紙の花：アルストロメリア“キャニオン”

抜群の日持ちを誇り、忙しい日々でも気軽に飾れる現代向きの花。咲き進むとともに淡いオレンジから透き通るようなサーモンピンクへと色が変化し、日々の暮らしに柔らかな移ろいを添えてくれます。

EDINETコード E02871



本紙「Flower Message」は、発行日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、今後の経済情勢、事業運営におけるさまざまな状況によって、記載内容が変更される可能性があります。